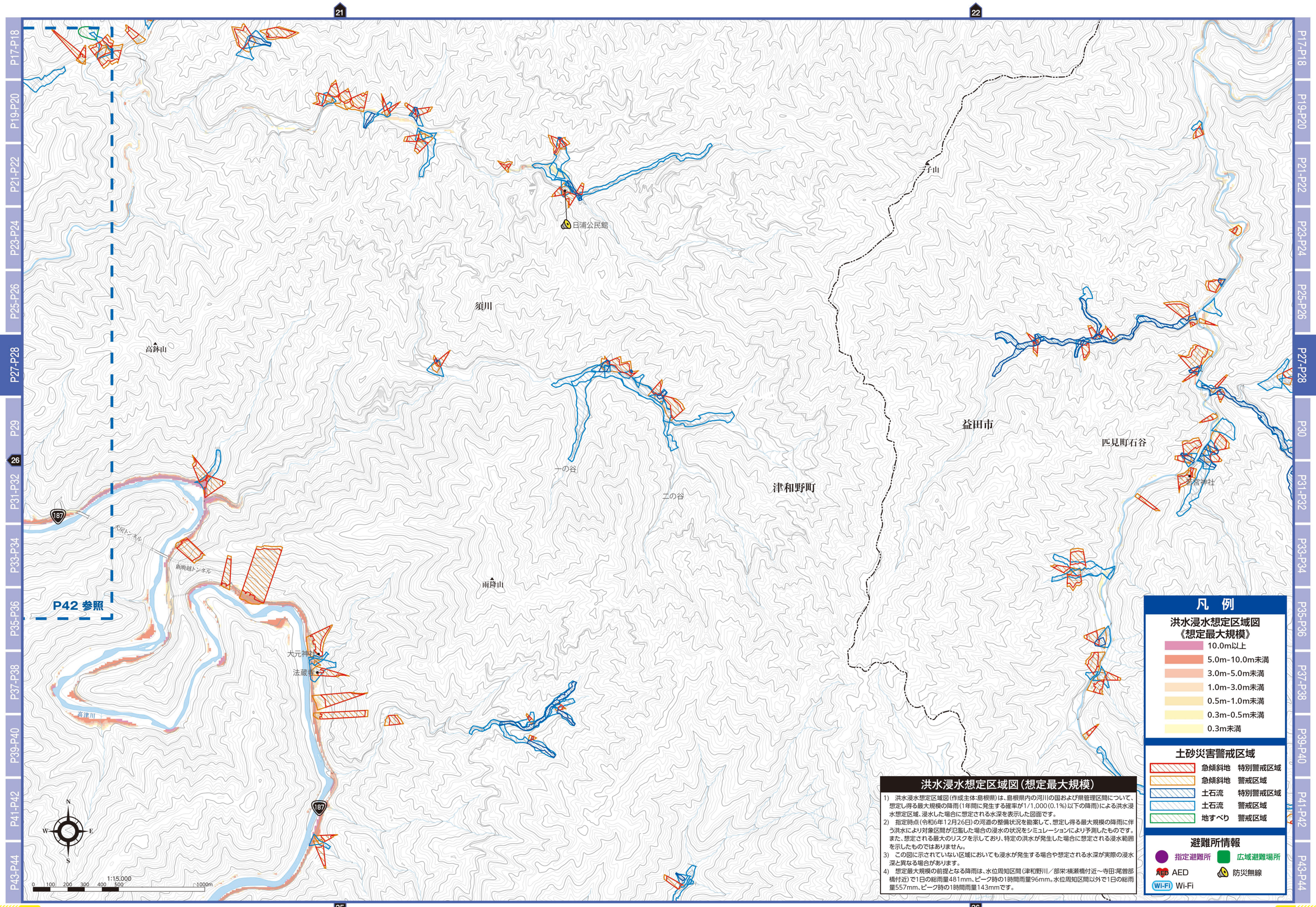

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1) 洪水浸水想定区域図（作成主体:島根県）は、島根県内の河川の国および県管理区間について、想定し得る最大規模の降雨（1年間に発生する確率が1/1,000（0.1%）以下の降雨）による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
2) 指定時点（令和6年12月26日）の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により対象区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。また、想定される最大のリスクを示しており、特定の洪水が発生した場合に想定される浸水範囲を示したものではありません。
3) この図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
4) 想定最大規模の前提となる降雨は、水位周知区間（津和野川／部栄:横瀬橋付近～寺田:尾曽部橋付近）で1日の総雨量481mm、ピーク時の1時間雨量96mm。水位周知区間以外で1日の総雨量557mm、ピーク時の1時間雨量143mmです。